

調査名 全国こども食堂実態調査, 2021

寄託者(寄託時) 全国こども食堂支援センター・むすびえ

本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。最新の寄託者名は概要にてご確認下さい。

Q1. 回答時点での活動状況についてお答えください。(ひとつに○)

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1. 活動している | 2. 休止している | 3. 活動を辞めている |
|-----------|-----------|-------------|

Q2. 運営主体についてお答えください。(ひとつに○)

- | | | |
|------------------|-------------------|-----------|
| 1. 任意団体(市民活動) | 2. 任意団体(自治会、町内会等) | 3. 個人 |
| 4. NPO 法人 | 5. 社団法人 | 6. 社会福祉法人 |
| 7. 学校法人 | 8. 医療法人 | 9. 宗教法人 |
| 10. 農業協同組合 | 11. 生活協同組合 | 12. 企業 |
| 13. 地方公共団体(委託含む) | 14. 社会福祉協議会(委託含む) | |
| 15. その他(具体的に: | |) |

Q3. こども食堂のある自治体についてお答えください。(ひとつに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. 特別区 |
| 2. 政令指定都市 |
| 3. 中核市 |
| 4. 一般市(人口規模20万人以上) |
| 5. 一般市(人口規模10万人以上20万人未満) |
| 6. 一般市(人口規模10万人未満) |
| 7. 町村 |

Q4. こども食堂を開始した時期(西暦)についてお答えください。

()年度(西暦)

Q5. あなたが運営するこども食堂の主な目的についてお答えください。(該当すべてに○)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1. 子どもの食事提供 | 2. 子どもの食育(食の教育) |
| 3. 子どもの生活習慣の習得 | 4. 子どもの学習支援 |
| 5. 子どもの見守り支援(虐待防止) | 6. 子どもの居場所づくり |
| 7. 子どもの遊び場づくり | 8. ひとり親家庭の支援 |
| 9. 親の子育て支援 | 10. 生活困窮家庭の支援(予防を除く) |
| 11. 生活困窮の予防 | 12. 高齢者や障害者等の支援(生きがいづくり等) |
| 13. 介護予防 | 14. 多世代交流 |
| 15. 地域づくり・まちづくり | |
| 16. 従来の地域団体活動の活性化(自治会や子ども会など) | |
| 17. 防災拠点 | 18. 伝統行事の伝承 |
| 19. 地域の特産物振興 | 20. 食品ロス削減 |
| 21. 運営団体の地域貢献 | |
| 22. その他(具体的に: _____) | |

Q6. こども食堂への参加条件についてお答えください。(該当すべてに○)

※運営スタッフの参加は除きます。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 参加条件はない(子ども以外でも、誰でも無料で参加できる) |
| 2. 参加者全員(子どもを含む)に食事代の支払いを求めている |
| 3. 成人のみ(子ども以外)に食事代の支払いを求めている |
| 4. 子どもの参加に限っている(保護者の同伴も不可) |
| 5. 子どもの参加に限っている(保護者の同伴は可能) |
| 6. ひきこもり・不登校の状態にある子どもの参加に限っている |
| 7. 生活困窮家庭(生活保護・非課税世帯など)に限っている |
| 8. ひとり親家庭(児童扶養手当受給世帯など)に限っている |
| 9. 子ども食堂のある自治体の住民に限っている |
| 10. 運営団体による他の非営利活動への参加者(団体会員含む)に限っている |
| 11. 運営団体のサービス・商品の購入者に限っている |
| 12. その他 (具体的に: _____) |

Q7. こども食堂の開催1回当たりの参加人数(平均)についてお答えください。

※運営スタッフは除きます。

※参加がない場合は「0」と記入してください。

未就学児:()人程度
小学生:()人程度
中学生:()人程度
高校生(または15歳から17歳):()人程度
大人(18歳以上、高齢者除く):()人程度
高齢者(概ね65歳以上):()人程度

Q8. 特別な配慮を要すると思われる子どもの参加人数(こども食堂の開催1回当たりの平均)についてお答えください。

※運営スタッフは除きます。

※該当者がいない場合は「0」と記入してください。

身体障害を持つ子ども:()人程度
知的障害を持つ子ども:()人程度
発達障害を持つ子ども:()人程度
心身の病気を持つ子ども:()人程度
経済的に困窮している子ども:()人程度
虐待・暴力を受けている子ども:()人程度
性的マイノリティの子ども:()人程度
孤立している子ども:()人程度
外国にルーツのある子ども:()人程度
その他(具体的に:)

Q9. 開催頻度についてお答えください。(ひとつに○)

1. ほぼ毎日(週5~7回程度)
2. 週3~4回程度
3. 週1~2回程度
4. 2週間に1回程度
5. 月1回程度
6. 数か月に1回程度
7. 季節限定(長期休暇中のみなど)
8. 不定期

Q10. 活動する曜日・時間帯についてお答えください。(該当すべてに○)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 平日(朝) | 2. 平日(昼) | 3. 平日(夜) |
| 4. 土日祝日(朝) | 5. 土日祝日(昼) | 6. 土日祝日(夜) |

Q11. 開催場所についてお答えください。(該当すべてに○)

1. 任意団体(市民活動)の建物(敷地含む)
2. 任意団体(自治会、町内会等)の建物(敷地含む)
3. 個人(賃貸マンション・アパートを含む)の建物(敷地含む)
4. NPO法人の建物(敷地含む)
5. 社団法人の建物(敷地含む)
6. 社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)の建物(敷地含む)
7. 学校法人の建物(敷地含む)
8. 医療法人の建物(敷地含む)
9. 宗教法人の建物(敷地含む)
10. 農業協同組合の建物(敷地含む)
11. 生活協同組合の建物(敷地含む)
12. 企業の建物(敷地含む)
13. 地方公共団体の建物(敷地含む)
14. 社会福祉協議会の建物(敷地含む)
15. 建物がない敷地や野外
16. その他 (具体的に: _____)

Q12. 食事の提供方法についてお答えください。(該当すべてに○)

1. 食堂内での配食
2. 食堂内でのバイキング形式
3. お弁当の配布(取りに来てもらう)
4. 食材等(お弁当除く)の配布(取りに来てもらう ※いわゆる「フード・パントリー」)
5. お弁当の宅配(自宅などへお届け)
6. 食材等(お弁当除く)の宅配(自宅などへお届け)
7. その他 (具体的に: _____)

Q13. 実施している活動についてお答えください。(該当すべてに○)

1. 子どもの食育(食の教育)推進に向けた取り組み
2. 子どもの生活習慣の習得に向けた取り組み
3. 子どもの学習支援
4. 子どもの見守り支援(虐待防止)
5. 子どもの居場所づくり
6. 子どもの遊び場づくり
7. ひとり親家庭を対象とした取り組み
8. 親の子育てを支援する取り組み
9. 生活困窮家庭を対象とした取り組み(予防を除く)
10. 生活困窮の予防に向けた取り組み
11. 高齢者や障害者等を対象とする取り組み(生きがいづくり等)
12. 介護予防を促す取り組み
13. 地域住民の孤独・孤立に関わる取り組み
14. 相談支援機関との連絡調整(参加者についての相談含む)
15. その他 (具体的に: _____)

Q14. 実施している地域づくり活動についてお答えください。(該当すべてに○)

1. 多世代交流を促す取り組み
2. 従来の地域団体活動の活性化(自治会や子ども会など)に向けた取り組み
3. 地域の商業活動(商店街等)の活性化に向けた取り組み
4. 防災拠点の強化に向けた取り組み
5. 伝統行事の伝承を促す取り組み
6. 地域の特産物振興を促す取り組み
7. 食品ロス削減を進める取り組み
8. 大学生等の地域の若者の参加を促す取り組み
9. 地域の会合・イベントへの参加
10. 自治体等の協議会への参加
11. その他 (具体的に: _____)

Q15. 開催1回当たりの運営スタッフの人数(平均)についてお答えください。

※参加がない場合は「0」と記入してください。

17歳以下	()人程度
大学生・専門学校生等	()人程度
18歳以上(大学生・専門学校生等、高齢者を除く)	()人程度
高齢者(概ね65歳以上)	()人程度

Q16. 年間の運営費についてお答えください。(ひとつに○)

1. 10万円未満
2. 10万～30万円未満
3. 30万～50万円未満
4. 50万円以上

Q17. こども食堂同士の連携についてお答えください。(該当すべてに○)

1. 全国規模の連絡組織に参加している
2. 都道府県の連絡組織に参加している
3. 市区町村の連絡組織に参加している
4. その他の連絡組織に参加している
5. 個別に交流しているが、連絡組織には参加していない
6. 他の食堂との交流はない

Q18. 福祉・心理・医療・保健・教育分野の専門職は、子ども食堂の運営にどのように関わっていますか。
(該当すべてに○)

1. 運営の中心メンバーに専門職がいる
2. ボランティアスタッフの中に専門職がいる
3. スタッフではないが、専門職がよく子ども食堂を訪問している
4. 電話等で気軽に相談できる専門職がいる
5. その他 (具体的に:)
6. 当てはまる福祉・心理・医療・保健・教育分野の専門職はいない

Q19. 子ども食堂の周知・広報等について、行政とどのように連携していますか。(該当すべてに○)

1. 窓口や構内にチラシ等を掲示してもらう
2. 個別に子ども食堂を紹介してもらう
3. 広報誌(市報、学校便り等)で広く周知してもらう
4. 母子健康手帳送付時や乳幼児健診の案内と併せて子ども食堂を紹介してもらう
5. 現況届の提出時に子ども食堂を紹介してもらう
6. 5以外の方法で、対象者を限定(ひとり親家庭、生活困窮家庭等)して案内してもらう
7. その他 (具体的に:)
8. 周知・広報で行政と連携していない

Q20. 子ども食堂の周知・広報等について、社会福祉協議会とどのように連携していますか。
(該当すべてに○)

1. 窓口や構内にチラシ等を掲示してもらう
2. 個別に子ども食堂を紹介してもらう
3. 広報誌(市報、学校便り等)で広く周知してもらう
4. 対象者を限定(ひとり親家庭、生活困窮家庭等)して案内してもらう
5. その他 (具体的に:)
6. 周知・広報で社会福祉協議会と連携していない

Q21. 子ども食堂の周知・広報等について、学校や教育委員会とどのように連携していますか。
(該当すべてに○)

1. 窓口や構内にチラシ等を掲示してもらう
2. 個別に子ども食堂を紹介してもらう
3. 広報誌(市報、学校便り等)で広く周知してもらう
4. 対象者を限定(ひとり親家庭、生活困窮家庭等)して案内してもらう
5. その他 (具体的に:)
6. あてはまるものはない

Q22. 2020年4月～2021年3月の間に、気になる子どもや保護者、家庭等について、ご自身や所属組織がつながりのある専門職に相談したり、状況を話して意見をもらったりした経験はありますか。(1つに○)

1. ある →Q23へ	2. ない →Q25へ
-------------	-------------

【Q22で「ある」を選んだ場合にご回答ください】

Q23. 2020年4月～2021年3月の間に、そうしたケースは何件ありましたか。

子どもについて話したケース	()件
保護者や家庭について話したケース	()件
その他について話したケース	()件

【Q22で「ある」を選んだ場合にご回答ください】

Q24. どのような組織や専門職に話をしましたか。(該当すべてに○)

1. 行政	2. 社会福祉協議会	3. 民間の支援機関
4. 民生委員・児童委員	5. 学校・教育委員会	6. 他の子ども食堂
7. 病院・診療所		
8. その他(具体的に:)

Q25. 運営している子ども食堂についてお教えてください。

所在地	※小学校区を判別するため、丁目、番地、号までご記入ください。 (例:愛知県名古屋市中央区中丸1-1)
子ども食堂の名称	
連絡先(Email等)	
その他(本調査に関わる伝達事項等)	

Q26. ご回答いただいている方について教えてください。

性別	1. 男性	2. 女性	3. 表明しない
年齢	()歳		
子ども食堂での活動経験年数	()年		
子ども食堂以外の地域活動等の経験年数	()年		
保有する免許・資格 ※具体的に			

質問は以上です。
ご協力ありがとうございました。